

## ●しきしまのあしあと

2009年「若者よ田舎を目指そうプロジェクト」受入

2010年「しきしま・ときめきプラン2010」策定

2015年「しきしま・ときめきプラン2015」策定

プラン推進に向けた自治会組織の再編

「しきしま暮らしの作法」策定

2020年「しきしま・ときめきプラン2020」策定

過疎地域自立活性化「総務大臣賞」受賞

2022年 拠点整備クラウドファンディング実施

2023年「しきしまの家」暫定オープン

「未来に向けた構造改革のための提言」策定

2024年「しきしまの家」グランドオープン



プラン2015公開討論会



2020年総務大臣賞受賞



2023年しきしまの家オープン式

私たちが描くしきしまの未来

それは、美しい田園風景のある里  
それは、あるがままの自分で居られる里  
それは、小さな生業が芽吹く里  
それは、不安のない暮らしが続く里  
それは、子どもたちの瞳が輝いている里  
それは、お年寄りが笑顔で暮らす里  
それは、しきしまを愛するすべての人々による、  
新たな自治が育まれる里  
「しきしまの家」は、その実現に向けて人々が  
努力する場となり心の拠り所となる  
(未来に向けた構造改革のための提言より)

# しきしまの家

地域の絆が 都市とつながり 未来を拓く



## しきしまの家(しきしまの家運営協議会)

住 所: 豊田市杉本町三斗成1-3

TEL/FAX: 0565-77-5733

営業時間: 9:00~17:00(木曜、年末年始休業)

U R L : <https://shikishima.org>

E - m a I l : [mail@shikishima.org](mailto:mail@shikishima.org)

作成: 2024.04



Facebook



Instagram

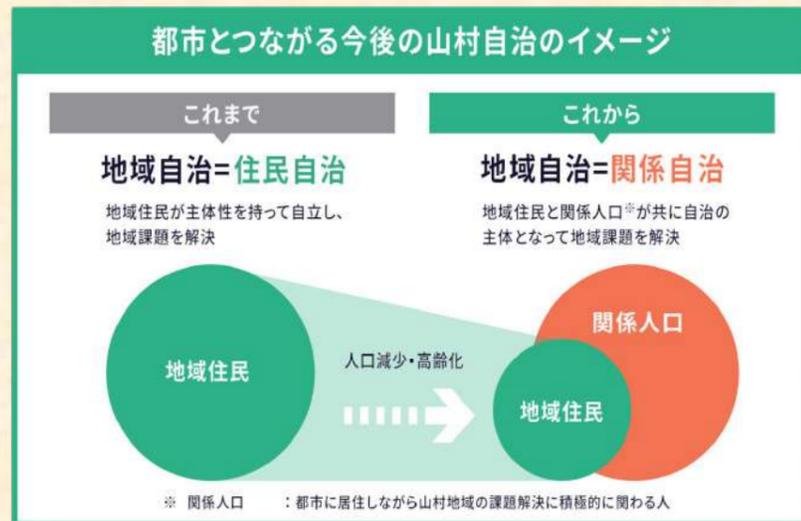




「しきしま・ときめきプラン2020」重点プロジェクトを推進するために、拠点となる施設、経営的な観点や手法で具体的に事業を実施する機能(地域運営組織)の必要性が浮き彫りになりました。そこで、空き物件となっていた旧杉本保育所を有効活用することとなり、ボランティアによるDIYや430人から寄せられた支援金により拠点施設が整備されました。そして、住民や関係人口が家族のようにつながり、わが家のように集える場所になって欲しいと「しきしまの家」と名付けられ、カフェ「ふらっとyui」を併設、2023年4月に開設、2024年4月グランドオープンしました。

### ●大切にしていること

- ①人口減少・超高齢社会を受け止めて前へ進む
- ②「おたがいさま」の地域共生社会を取り戻す
- ③次世代が今より幸せに暮らせる地域を残す
- ④美しい農村景観を守ることが地域をつなぐ鍵
- ⑤都市部の関係人口を地域自治の主体に加える



### ●困り事相談窓口

日常の困りごとは何でも相談できます。適切な支援者とマッチングして課題を解決しながら現代の「結」システムの構築を目指しています。



### ●農地保全相談窓口

農地に関する相談ができます。自ら管理できなくなる農地の増加が見込まれ、敷島自治区全域で連携して農地を保全し、美しい農村景観を次代につなぎます。



### ●カフェ「ふらっとyui」

我が家の居間のようなくつろぎ空間で、食事、軽食、コーヒーが楽しめます。家族のように支え合える地域は、ご飯を一緒に食べることから。



### ■自治区の地勢

豊田市の中山間地域に位置  
面積: 21.7km<sup>2</sup>  
標高: 約180m~530m

### ■集落数

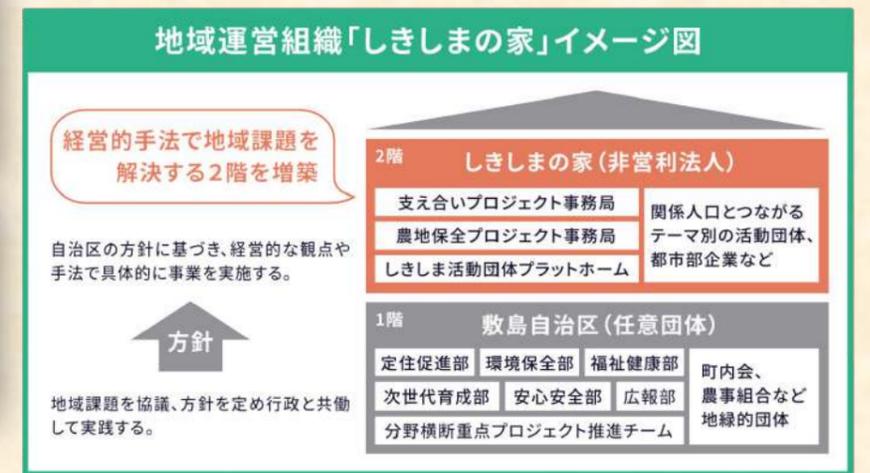
9集落(町内会)

### ■自治区の人口(R6.4.1)

人口: 880人(住民基本台帳)  
世帯数: 322世帯(自治区調べ)

### ■公共施設

旭中学校  
敷島小学校  
杉本こども園  
杉本郵便局  
杉本駐在所



### ●農村RMOとしての

#### 「しきしまの家」

農村RMO (Region Management Organization) は、人口減少や高齢化で疲弊する集落機能を保全するため、農家とコミュニティが一体となって活動する組織です。しきしまの家運営協議会は、2023年度に農村RMO推進モデル形成支援事業の採択を受け、3か年度に渡って様々な実証事業に取り組んでいます。また、中山間地域等直接支払制度の10集落協定を「しきしま集落協定」に一本化する取組みの事務局も担っています。

分野	計画・実証	概要
農用地保全	・「地域計画」実現化戦略 ・草刈省力化共同利用実証 ・自給家族による農地保全	モデル集落における戦略 草刈ロボット開発 米のCSAによる農地保全
地域資源活用	・高齢者生産野菜配送実証 ・RMO拠点しきしまの家	健康、資源活用、農地保全 旧保育所活用・整備
生活支援	・高齢者等の移動支援実証 ・支え合いシステム実証	運転代行、カーシェア 有償ボランティアシステム

